

「ゼロカーボンシティ那珂川」宣言

～2050年カーボンニュートラルを目指し～

近年、国内外において、気候変動による記録的な豪雨、猛暑、台風などこれまで経験したことがない規模の自然災害が多発し、地球環境は深刻な状況です。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温の上昇を産業革命以前と比較して2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」との目標が設定されました。

2018年には、気候変動に関するIPCC1.5℃特別報告書において、2050年までに、CO₂（二酸化炭素）の実質排出量をゼロにする必要性が示され、わが国でも、2020年10月に地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を実質ゼロにする、カーボンニュートラルが宣言されました。

本市の豊かな自然は、私たちの誇りであり、次世代に引き継いでいくことは、私たちの責務です。気候非常事態が地球規模であることを市民や事業者の皆さまに認識していただき、この危機に対し、市全体で地球温暖化対策に取り組む必要があることから、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指し、ここに「ゼロカーボンシティ那珂川」を宣言します。

令和4年2月28日

那珂川市長

武末茂喜